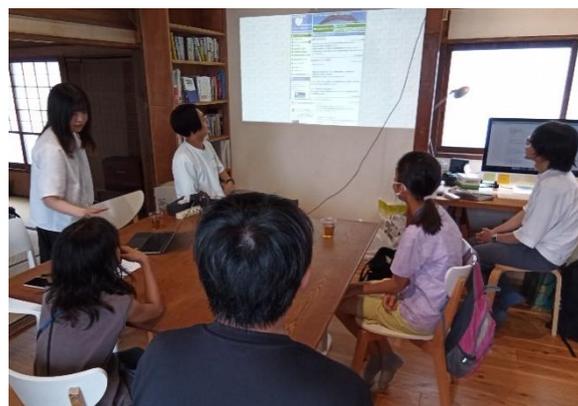


ハローキャリアワーク通信



今回は、尾山台商店街組合の高野さんより「尾山台商店街がこれからも末永く愛されるように、商店街のウェブサイトのリニューアルしたい」との呼びかけに、近隣の小学生2名が参加し行われました。

各自の自己紹介の後、一般社団法人おやまちプロジェクト事務局長の黒川さんがこの企画のねらいなど説明を行い、現在の尾山台商店街のホームページの様子について、担当者の方から



実際に観ながらその内容について説明を受けました。参加した子どもたちの中には、既に参加することになる以前に自ら

ホームページを閲覧している子もいました。

現在のホームページ

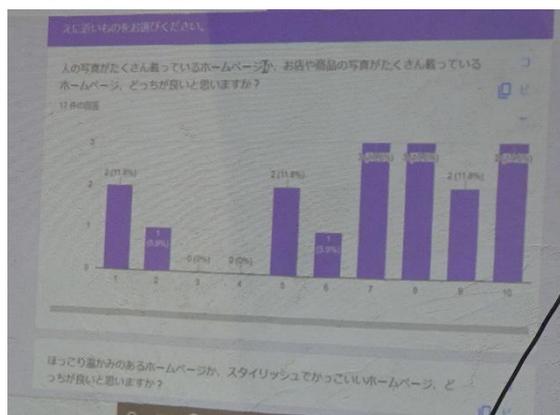
を観て、子どもたちからは、「古い感じがする」「分かりにくい」「文字が多い」などの意見が出ました。また、商店街に行ったアンケートの結果を知らせていただき、各店舗の願いや現状も知りました。そして、改善策として「フォントを変える」「色を付ける」「写真を流れるようにした」「動画を入れる」「キャラクター、商店街のロゴを作り替える」など、具体的な案が出



されました。それらを付箋紙にまとめ、グループ分けをしてさらに考えを深めていきました。商店街の「ロゴ」については、2人が付箋紙に案を描き、その中で「漢字でサイン的にまとめた『尾山台』という案をいくつか提示して決めることになりました。ここまで話し合ってきたところで、黒川さん



から「商店街を歩いて、写真や動画を撮影してさらに現状を知ってみよう」ということになり、商店街を端から端まで約300数十メートル100店舗近くの商店街を歩くことにしました。歩きながらの撮影でしたが、2人の子どもたちは、「ここのお店のこれがいい」「この標識みたいのは？へ～おもしろいね」など言葉にしながら歩いていました。約30～40分程度でしたが、人の多さや商店街の雰囲気、また、お祭りと重なり神酒所にある「お神輿」など見ながら戻りました。その後、撮影したものを観なが





ら、どのようにホームページを構成するか考えを出し合いました。その中で、例示された人気の漫画のウェブサイトを読み出し、「ファーストビュー」の画面を印象深くするように「下絵」を描く子ども、フォントや色に拘るなど、話し合いを進めました。

終わりの時間もまじかになり、黒川さんから商店街の「ロゴ」案を決めておこうと話が出され、縦型のものに意見が集まり、今後、完成させるようになりました。また、次回には、ファーストビューをはじめ掲載する素材の撮影を行い、その編集にしようということも話されました。少ない人数でしたが中身の濃いワークになりました。

以下、他の場面の写真です。

